

めむろ

牧場だより

芽室町役場 農林課畜産振興係発行 令和5年11月20日

No.4

今年度の放牧が終了！

5月中旬から行っていた今年度の放牧が終了しました。

嵐山牧場では9戸の畜主さんからお預かりした275頭が146日間、光勇牧場では15戸の畜主さんからお預かりした467頭が158日間を元気に過ごしました。

広い牧場が楽しかったのか、なかなかトラックに乗らない牛、自分の農場が恋しいのかスムーズにトラックに乗る牛など様々でしたが、無事、放牧を終えて、畜主さんのところへお返しできたことを嬉しく思います。

大事な牛を預け、放牧事業を活用してくださった畜主さん、牛の管理・育成にご尽力いただいた職員の方々に感謝申し上げます。



芽室町の放牧について

芽室町では、新嵐山と光勇の広大な草地を利用して夏季の放牧事業を行っています。

この事業により、町内酪農家さんの労働負担軽減や自給飼料の補完、後継牛の育成など経営コスト低減や経営体質強化を目指しています。

また、牧場業務の委託先であり、哺育育成施設を管理・運営しているJAめむろさんの連携により放牧と哺育育成施設間での移動も円滑に行われています。

放牧にはさまざまな利点があります！

運動することで足腰を強くし、健康状況が良くなることから繁殖能力の回復や向上も期待できます。また、放牧地の牧草を牛が直接食べることから飼料生産や給与の省力化を図り、ふん尿は草地に直接還元されるため、毎年実施する放牧事業において良質な牧草を育てるためには欠かせない資源となっています。

また、草地を増やすことで二酸化炭素の削減にも繋がります。